

2025
8
#126

議会だより

あさひまち



撮影場所：大屋海岸

P 2～5	特集（常任委員会レポート）
P 6～7	審議結果など
P 8～14	代表質問、一般質問
P15	議会の話題
P16	議員の部屋





茨城県境町『移住・定住』

25年間住み続けると、家と土地が無償譲渡!?

境町は、移住・定住施策として、子育て世帯や新婚世帯を対象とした賃貸住宅の建設を推進している。現在、マンションタイプや戸建てタイプなど169戸を整備し、ほぼ満室。

これまで全国各地より256件の申し込みがあり、中でも戸建てタイプでは、25年間住み続けるだけで家と土地がそのまま無償譲渡される制度が人気を呼んでいるとのことである。



また、この住宅を建設する際には、民間事業者を活用したPFI事業により整備されており、仕組みとしては、住宅建設費の50%は国の交付金、残り50%は事業者の資金。

町は建設後の家賃収入から分割して事業者に建設費等を支払っている。

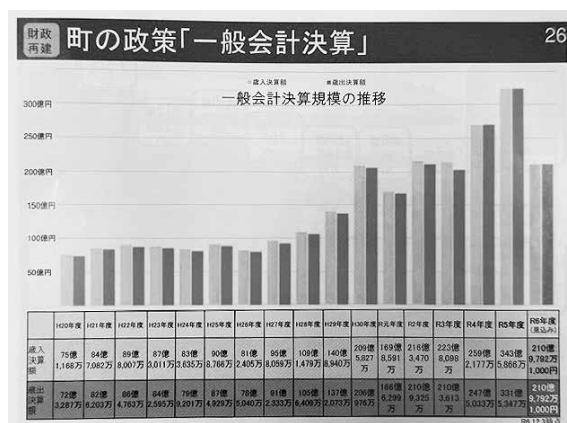


茨城県境町『ふるさと納税』

ふるさと納税に全力！新たな財源を稼ぎ出す

「家と土地の無償譲渡」や「手厚い子育て支援」など、手厚い予算が組める理由を伺ったところ、ふるさと納税に力を入れていることが分かった。

平成25年度にわずか6万円だったふるさと納税額は、令和5年度には99億円にまで増加。さらに、ふるさと納税の運営を町外業者に委託せず、商品開発から手配、宣伝、受付、発送に至るまで、すべてを町内の「さかいまちづくり公社」で運営。



このふるさと納税で得たお金は、新たなふるさと納税商品の開発や移住・定住施策等に活用しているとのことであった。

ふるさと納税という制度を十二分に活用し、自ら予算を稼ぎ出しているところは、大いに参考になる。



驚きの子育て支援

境町ではさらに、子育て世帯や新婚世帯に対して、住宅支援のみならず転入者支援や子育て支援も充実している。

特に子育て支援に関しては、保育所・小中学校の給食費無料は当町と同様だが、保育料は第2子以降が無料、医療費は20歳の学生まで無料と、どの市町村よりもワンランク上の手厚い支援を実現している。



〈視察先はこちら〉

視察内容は多岐にわたるため、紙面では一部のみを掲載しています。詳しくは、委員長報告書（全文PDF）や議会中継アーカイブからご確認いただけます。

視察先	主な内容
埼玉県寄居町	議会広報の編集
茨城県阿見町	議会報告会、議会モニター制度
茨城県笠間市	災害発生時の議員行動基準
茨城県境町	移住・定住・ふるさと納税・子育て支援

📄 委員長報告書（全文PDF）はこちらから



📺 議会中継アーカイブはこちらから



寺西総務産業常任委員長

複合的な魅力で惹きつける 一鍵は外部財源一

視察を終えて

境町では、すべての学校に複数名の外国人英語講師を配置（平均3.4人／校）し、英語検定受験料やホノルルへのホームステイを無料化するなど、英語教育に力を入れた施策が目を見せました。

また、サッカー、BMX、インラインスケート、ホッケーでは、プロによる無料の放課後スポーツ教室と専用施設を整備。自動運転バスや東京直通の高速バスの運行、ハワイ文化に根ざした施設、著名建築家による建物群など、特色あるまちづくりに満ち溢れていました。

こうした、子育て世帯を惹きつける取り組みを次々に打ち出せるのも「ふるさと納税」や「国の補助金」といった外部財源があつてこそ。

財源の確保は大切であり、朝日町においてもふるさと納税や新たな補助金の獲得に力を入れることで、より先進的な施策に取り組む可能性が広がると実感しました。

A …行政視察は、他地域の先進的な取組を調査研究し、まちづくりに活かすことを目的としています。現地で話を聞くからこそ分かる「苦労や工夫の裏側」があります。ネットや資料だけでは得られない、現場ならではのリアルな学びがあり、それを議会や政策提案に活かしていきます。

Q1 …「行政視察」とは？

「教育×まちづくり」が未来を変える！

都農町は人口約9,500人、高齢化率38.7%。町内に中学校は1校のみで、高校は令和3年に廃校。教育資源の限界や人口規模など、朝日町と多くの共通点を持つ自治体。

「まちづくりと教育を重ね合わせる」先進事例として注目される株式会社イツノマを訪問。同社は、探究学習を中心とした独自の教育プログラム「つの未来学」を展開しており、子どもたちが地域課題をテーマに学び、提案し、その内容が実際の町の施策へ反映される仕組みを構築している。

つの未来学2024 学校からの与件とプログラム案

与件

1. 全学年の共通テーマを「都農中キャリア教育理論」とする
2. シゴトが「誰のために」「何のために」「どんな価値（幸せ）」を提供しているするための提案を考える
3. 主体性・協働性・創造性・情報編集力・問題解決力を重視する学習
4. 必ずプロジェクトの「提案」「実行」を伴う

学年 学期 学校指定テーマ イツノマのプログラム案

1年	2学期	シゴト人を探せ	未来のシゴトとワクワク探究 (2040年の自分ポスターを作成・プレゼン)
			↓ 学んだことを活かして 具体的な人を集める企画
2年	3学期	町が元気になるシゴト (プロジェクト) 企画	町が元気になるプロジェクト企画 (まちづくりに必要な10分野でプレゼン)
			↓ 学んだことを活かして 自発的な企画案を企画
3年	1学期	町が元気になるシゴト (プロジェクト) 実現	町が元気になるプロジェクト実現 (ヒト・モノ・コトを考え起業・起動体験)

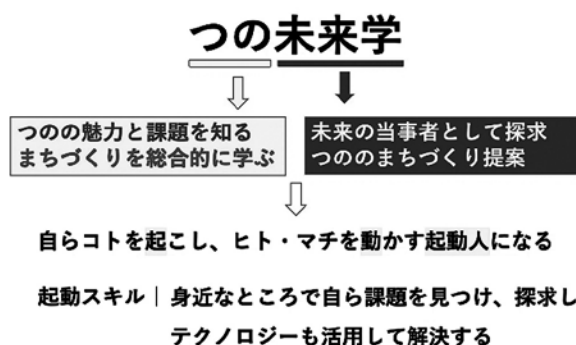
Uターンの鍵は「関わりの記憶」

視察では、28歳の学年で町に残っているのは110人中わずか5人という現実が示された。

子どもたちが町に関わり、主体的に動いた記憶が、将来のUターンにつながる——都農町ではそうした考えのもと、「まちづくりと教育を重ね合わせる」戦略を展開している。



つの未来学の目標：未来に向けて自ら起動する人を増やす



例えば、生徒が自ら会社を立ち上げ、駄菓子屋の経営を通して「稼ぐとは何か」「社会とどうつながるか」を実体験として学ぶ活動は、極めて実践的かつ意義深いものであった。

また、中学校では、公式部活動として「まちづくり部」が設けられており、「子ども自身にとって、まちづくりに関わることにどんなメリットがあるのか」という視点が印象的であった。

こうした一連の取組によって、子どもたちは「自分たちの提案が町を変える」という成功体験を得ることができ、地域への主体的な関与と愛着を育むことにつながっていると感じた。

イツノマは「まちづくり」と「教育」を掛け合わせる会社です



「まちづくりと教育を重ね合わせる」というアプローチは、人口減少に悩む朝日町にとっても、大いに参考となる取組であると感じた。



「空家×移住支援」で事業継承を実現!!

地域創生に向け設立された「奥霧島地域商社ツナガルたかはる株式会社」

地元業者の後継者不足という課題に対し、空き家・空き店舗を活用した事業承継を伴う移住支援を行っている。

後継者育成期間は地域おこし協力隊制度も活用し、地域の中小企業や個人商店、農家などの後継者不足による廃業を防ぎ、次の担い手へとつなぐ取組。

産業・雇用・文化・暮らしを守るための重要な活動。

運転資金は、ふるさと納税の運営代行による成功報酬。固定費だけでなく、特産品の開発や地域活性化に資する事業にも活用されている。

また、人材派遣型の企業版ふるさと納税を活用し、地元銀行から経営の中核を担う人材派遣を受け、戦略的に運営している。



〈視察先はこちら〉

視察内容は多岐にわたるため、紙面では一部のみを掲載しています。詳しくは、委員長報告書（全文PDF）や議会中継アーカイブからご確認いただけます。

視察先	主な内容
宮崎県高原町	地域商社と連携した事業継承
宮崎県延岡市	広域での成年後見制度利用促進・地域医療を守る取組
宮崎県都農町	まちづくり会社の取組事例

📄 委員長報告書（全文PDF）はこちらから



📺 議会中継アーカイブはこちらから



由井民生教育常任委員長

地域の未来は自分ごと

視察を終えて

延岡市では、成年後見制度利用促進のための広域連携や、住民の力で地域医療を守る取組が進められていました。制度や仕組みを整えるだけでなく、住民・行政・関係機関が一体となって制度整備と意識づくりを進めている姿勢からは、「地域の未来を自分ごととして捉える力」がまちを支える原動力であることを学びました。

朝日町でも現在、「まちづくり会社」の構想が検討されていますが、地域課題の解決には、制度の整備とともに、住民と行政の信頼関係や協働意識が欠かせません。今回の視察で得た学びは、単なる事業の参考にとどまらず、町全体で「誰のための仕組みか」を共有しながら、持続可能な地域づくりを進めるヒントとなりました。

Q1…視察で得たことって、本当に役立つの？
A…はい。例えば、今回訪れた都農町の取組は、「子どもたちの声をまちづくりに生かす仕組み」として、朝日町でも参考になりそうです。
小さな町ならではの知恵や工夫を学び、朝日町の未来にどう応用できるかを考えるのが視察の大きな目的です。

6月議会審議結果

※議決日：6月19日
(議案第30号と議員提出議案第2号：6月5日)

全賛：全員賛成で
可決・承認

議案番号	件 名	審議結果	
議案第30号	都市構造再編集集中支援事業 泊駅南公園遊具上屋建築工事請負契約締結に関する件	全賛	原案可決
議員提出 議案第2号	※欄外参照 朝日町議会会議規則一部改正の件	全賛	原案可決
議案第31号	令和7年度朝日町一般会計補正予算(第2号)	全賛	原案可決
議案第32号	令和7年度朝日町簡易水道特別会計補正予算(第1号)	全賛	原案可決
議案第33号	令和7年度朝日町病院事業会計補正予算(第1号)	全賛	原案可決
議案第34号	朝日町立公民館設置条例一部改正の件	全賛	原案可決
議案第35号	朝日町教育センター設置条例一部改正	全賛	原案可決
議案第36号	朝日町ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例一部改正の件	全賛	原案可決
議案第37号	朝日町重度心身障害者等の医療費助成に関する条例一部改正の件	全賛	原案可決
議案第38号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第3号 令和6年度朝日町一般会計補正予算(第14号)	全賛	承認
議案第39号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第4号 令和6年度朝日町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	全賛	承認
議案第40号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第5号 令和6年度朝日町簡易水道特別会計補正予算(第5号)	全賛	承認
議案第41号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第6号 朝日町税条例一部改正の件	全賛	承認
議案第42号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第7号 朝日町国民健康保険税条例一部改正の件	全賛	承認
議案第43号	国等補助の採択により専決 AI英語教育・リーディングDX・コミュニティー事業 地方自治法第179条による専決処分の件 専決第8号 令和7年度朝日町一般会計補正予算(第1号)	全賛	承認
議案第44号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第9号 損害賠償に係る和解に関する件	全賛	承認
追加議案			
議案第45号	令和7年度朝日町一般会計補正予算(第3号)	全賛	原案可決
議案第46号	朝日町各種委員会委員等の報酬及び費用弁償支給条例一部改正の件	全賛	原案可決
議案第47号	都市構造再編集集中支援事業 泊駅南公園遊具整備工事請負契約締結に関する件	全賛	原案可決

議員提出議案とは？

議案は原則、町長などの執行機関が提出し、議会（議員）が審議・判断。
「議員提出議案」は、議員自身が提案するもので、議会のルールを変えたり、議会としての意見を表明したりするときに用いられます。

常任委員会レポート Q & A

令和7年6月16日に総務産業常任委員会、6月17日に民生教育常任委員会が開催され、暮らしに関わる様々なテーマが議論されました。

また、議会から付託されました案件については、すべて可決・承認すべきものと決しました。

なお、民生教育常任委員会では、町が設立を進める「まちづくり会社」について、事業内容や運営の具体像を早期に示すよう求める意見が出されました。

傍聴OK！
お気軽にどうぞ

総務産業常任委員会

委員：寺西・吉江・水野・西岡・大井

確定申告、e-Taxへの誘導は？

税務課

周知はしているが、窓口対応まではしていない。
税務署ではスマホを使って指導してもらえる。
e-Taxにより業務は軽減する。

民生教育常任委員会

委員：由井・善田・加藤・清水・石原

保育所運営費の減額理由は？

住民
子ども課

パート等を募集したが人員を確保できなかったため。
配置基準はクリアしているが特徴ある児童が増加傾向で、なんとかやりくりしている。

下澤産業跡地の太陽光発電 今後の予定と地元説明は？

みんなで
未来！課

町内会で説明している。さらに要請があれば説明する。
今後は、公募型プロポーザルを実施し、工法などの提案を受ける予定。

緊急搬送時、一人暮らし 高齢者の対応は？

健康課

一人暮らし高齢者に登録されている方は消防署と名簿共有。該当者は役場に連絡が入り、緊急連絡先へつなぐ。

人口ビジョンのパブリックコメント 公式LINEで周知は？

みんなで
未来！課

町HPと同様に、公式LINEにも載せられない理由はない。確認する。

小中学校体育館 エアコン設置は？

教育委員会
事務局

暑さ対策は必要だが既存施設活用というスタンス。
中学校は体育、部活動でもエアコンのあるサンリーナ第一体育館を活用していきたい。

担当課：
農林水産課・建設課・税務課・商工観光課・会計課・
総務政策課・みんなで未来！課・財政管理課・朝日消防署

担当課：
住民子ども課・健康課・保健センター・教育委員会事務局・
あさひ総合病院・在宅介護支援センター



質問

医師が外付けハードディスク・SDを使って、個人情報を自宅などに無断で持ち出していた経緯と概要は。



石原孝之
【グループ22】

町長

このたび、あさひ総合病院を受診された患者様の個人情報が紛失したという事案が発生した。多くの患者の皆様とご家族、関係者の皆様に対し多大なご迷惑とご心配をおかけしたことに心よりおわび申し上げる。

また、個人情報の紛失の対象となった患者様には、おわびと今回の経緯を記載した文書を送付している。

今回の経緯は、令和5年4月から病院の形成外科に勤務していた非常勤医師が、患者から同意を得た上で取得した個人情報を保存したSDカードを、現在の勤務先である富山大学附属病院内で紛失したことが5月19日に発覚し、病院が報告を受けたところである。

それを受け、病院では当該医師に確認の上調査したところ、紛失した個人情報は577人分で、患者の氏名、生年月日、患者ID、処置や手術部位などの画像データであった。

これらの個人情報を保存したSDカードを適切に管理していなかったことが原因で紛失に至った状況であり、そのSDカード内の画像データには、パスワードや暗号化等のセキュリティ対策が施されていなかった。

また、今回の調査の過程において、病院所有の外付けハードディスクの患者のデータを自宅に持ち出していたことが判明した。

なお、紛失した個人情報については、現時点では外部で不正に利用された事実は確認されていない。

今回の個人情報の紛失については、極めて重大なものと認識をしており、病院全体の問題として、個人情報の管理体制の見直しと強化や職員への教育を徹底し、再発防止に向け取り組むよう病院長に指示をしたところである。

問.. 患者の個人情報を無断で持ち出した経緯と概要は
答.. 個人情報を保存したSDカードを紛失し発覚

その他の質問

☆あさひ舟川「春の四重奏」について

- ・案内看板について
- ・問題点について
- ・今後の課題について

☆ヒスイテラスの状況について

- ・施設運用時間について
- ・駐車場の確保について
- ・冬場の運用について

☆マイナ保険証について

- ・緊急搬送時のマイナ保険証の運用について
- ・国保のマイナ保険証への紐付け状況について

☆調整給付金について

- ・不足額給付の対象者について
- ・今後のスケジュールについて



質 問

メロン・レタスの特産化・ブランド化に向けての考えは。



西岡 良則
【未来】

商工観光
課長

PBS株式会社が手がけるレタスに関しては、ビタミン含有量が通常の2倍以上となる高機能レタスの栽培に成功しており評価も高く、徐々に販路が拡大している。メロンに関しても糖度の高いものが生産され、今年4月には、メロンをメニューの中心にしたカフェがヒスイテラスにオープンし、好評を得ている。

町としては、将来的に町の特産品と呼ばれるよう、様々な場面でのPRや情報発信、ふるさと納税への出品などにも協力していきたい。



ヒスイテラス



ヒスイテラス内にオープンした
Melon et Cafe

質 問

「がごめ昆布」の養殖試験の結果は。

農林水産
課長

今年の4～5月に長さ1.5m程度に成長したががごめ昆布総重量52kgの収穫があり、すでに41.5kgが今後の販売先予定の民間会社に納品されたと聞いている。

収穫量は上々とのことで、これから本格的に養殖事業に取り組んでいくために、すでに区画漁業権の権利取得とその権利行使のための申請を行い、現在、認可待ち。

町としては、安定供給がなされるよう見守りつつ、町漁業協同組合を中心に、関係各機関と連携し可能な限りの支援を行っていきたい。

問：町の産業振興について
答：将来的に特産品と呼ばれるようPRし情報発信をしていく

その他の質問

☆安全・安心なまちづくりについて

- ・消防団の定年延長について

☆観光と交流人口の拡大について

- ・高校・大学等の合宿の誘致について
- ・体験型修学旅行の受け入れについて
- ・春の四重奏における企画キップ利用状況について

☆町の産業振興について

- ・ウニの畜養事業について



代表質問

質 問

下澤産業跡地利用の地元説明会の内容は。
ウォーキングフィールド（散歩に適した公園・緑地）や災害避難場所等にする考えは。

みんなで
未来！
課長

この土地は土壌に課題があり土壌調査や水質検査等を行いながら管理してきているが、このたび民間の発電事業者から当該町有地を賃借し、太陽光発電設備を整備するという事業の提案を受けた。

現在、事業実施に向けて、地元町内会や隣接する町内会長、泊2区自治振興会長への説明会に加え隣接地の方々の個別説明を実施し概ね了承を得た。

町としては、町有地の利活用という観点、再生エネルギーの推進、脱炭素社会の実現に向けた取組であるという点からこの事業で進めたいと考えている。

今後は、事業者選定の公募型プロポーザルを実施していきたい。

今後、各地区や町内会での説明を要請された場合は開催するのか。

みんなで
未来！
課長

3月31日に泊2区の皆さんや町内会長の皆さんに説明してその後、町の方へは説明会を開催してほしいという話は聞いていない。

副町長

この土地を取得してから10年になる。整備するとなると町の財源が必要となり、また維持管理費も掛かる。民間事業者に貸して少なからず地代、固定資産税（償却資産）、そういうものも入ってくる。入ってきたお金は、町民の方々に還元できるような支出も考えている。町は、この事業を進めていきたいとの思いで、地元説明会を開催している。



上空から見た下澤産業跡地
（白枠内は、町有地部分）



下澤産業跡地

その他の質問

☆LoCoPiあさひまち関連事業について

- ・LoCoPiあさひまちコインプレミアムチャージキャンペーンの利用状況と検証について
- ・中学校卒業祝金給付事業の最終給付率について

☆あさひ舟川「春の四重奏」について

- ・受け入れ体制について
- ・来年度の課題について

☆町の不祥事案について

- ・地域おこし協力隊（会計年度任用職員）の不祥事について

☆夜間交通の社会実験について

- ・タクシー夜間営業時間の短縮による影響について



大井 光男
【一步会】

問：下澤産業跡地の太陽光発電設備計画について
答：公募型プロポーザルを実施し事業を進めたい



質 問

町における個人情報その他のデータの管理、情報漏えい対策、町職員に対する研修実施の状況について。



由井 崇
【青雲】

町長

朝日町情報セキュリティポリシーでは、職員等の外部への情報持ち出しの厳禁等の遵守基準や対策基準、組織体制を定めるほか、情報資産に対する脅威として不正アクセス、ウイルス攻撃、情報資産の無断持ち出し等を想定し、情報セキュリティへの対策を示し、情報化が進展する時代の変化に対応するため、必要に応じて改正を行うなど、適切な情報管理に努めている。今回のあさひ総合病院における患者情報の紛失の件を受け、改めて情報セキュリティに関する意識を高めることが必要であると認識しており、今後、職員に向け、情報セキュリティに関する通知文を発出するとともに研修会を開催するなど、万全な体制の構築に向け、対策を講じる。

※セキュリティポリシーとは
企業や組織において、実施する情報セキュリティ対策の方針や行動指針

質 問

町の防災行政無線のシステムからスマートスピーカーに災害情報等を配信することができないか。

総務政策
課長

日本語を理解できない外国人や、メールやアプリ、パソコンを利用することが難しい方、視聴覚障害者の方がいることは認識しており、自然災害が激甚化や頻発化する中で、社会情勢の変化や町民ニーズを踏まえ、町民一人一人に正確かつ迅速に情報が行き届くよう、今後、防災DXの取組やスマートスピーカーへの配信も含めて、効果的な情報伝達ができる手法について研究したい。

問.. 町の情報管理について
答.. 朝日町情報セキュリティポリシーを策定し、運用している



その他の質問

☆あさひ総合病院における患者情報の紛失及び町の情報管理について

- ・患者情報紛失の経緯、状況及びその後の対応について
- ・再発防止策について
- ・形成外科の診療再開について
- ・町職員の研修について

☆デジタル化の推進について

- ・町に対する各種届出のオンライン化について
- ・町内での各種訪問調査、訪問支援のデジタル化について

☆安全安心なまちづくりについて

- ・災害情報の伝達について
- ・民生委員・児童委員の確保及び募集について

一般質問

問：学校における雷雨への対応について

答：雷探知機の配置に向け、準備を進めている

本年4月、奈良市において学校グラウンドに落雷し、部活動中の6名が病院へ搬送され、うち中学生2名が意識不明の重体となったことが新聞報道された。教育委員会や学校が行っている雷雨に対する対応は。

教育委員会
事務局長

奈良市の落雷事故を受け、文部科学省から改めて事故防止への適切な対応について依頼があった。

朝日町の学校においては、以前から屋外での体育活動などにおいて、教員や指導者は落雷の危険性を認識し、事前に気象庁のウェブサイト等において雷注意報の発表状況などの気象情報を確認するとともに、天候が急変した場合にはためらわず、活動の中止や安全な場所への避難等の適切な措置を講ずる体制を取っている。活動の現場でも、黒い雲や雷雲の接近が見えたときや、かすかでも雷鳴が聞こえたときは、特に注意を払うよう周知徹底を行っている。

教育委員会においても、気象情報の把握に努め、学校と情報の共有を図っている。現在、雷探知機の配置に向け準備を進めており、これまで以上に事故防止を図ってまいりたいと考えている。



寺西 泉



問：町内会の現状と今後の支援策等について

答：自治振興会をはじめとした住民の皆様と検討していく

国民のだれ一人経験したことのない社会システムの縮小という現実を、行政としてどのように受け止め、どのように対処しようと検討されているのか。

総務政策
課長

近年、少子高齢化による人口構造の変化、働き方や価値観の多様化、コミュニティ活動の停滞や無関心層の増加に伴い、地域のつながりや連帯感の希薄化が進行しているものと認識しており、町内会によっては、今後、役員のなり手不足など、町内会運営に支障を来し、町内会単独での活動が困難になることも懸念している。

町としては、町内会をはじめ、地域を守り育むことや、地域に寄り添った活動を実施することには、皆さんのお住まいの地域を「自分自身、そして地域一丸となって守り、築いていく」という「自助」及び「共助」の取組みが重要であると考えている。

このことから、ご自身がお住まいの町内会や自治振興会の中において話し合いを深めながら、「自らの町内会・地域で実施できること」や「実施できる仕組み」を考えていくことが必要であり、それに合わせて、町が「公助」として、どのようなサポートができるか、その支援策等について、自治振興会をはじめとした住民の皆様と検討していくことが肝要であると考えている。



清水 真人



問：RSウイルス母子免疫ワクチン接種助成について

答：厚生労働省や県内自治体の検討状況を注視しながら、引き続き予防等の情報発信に努める



加藤好進



健康課長

令和6年1月、厚生労働省がファイザー社製RSウイルスワクチンを妊婦用として承認し、5月に発売された。予防策として期待されているワクチンだが、任意接種で2万円を超える高額なワクチン費用を妊婦が負担するという課題があり当局の見解について伺う。

このワクチン接種は、予防接種法に基づく定期接種ではなく、希望者が全額自己負担の任意接種となっており、3万円前後の費用がかかるとされている。

一方、厚生労働省の審議会のワクチン評価に関する小委員会において、定期接種化を検討しているワクチンにRSウイルスワクチンが対象となっており、直近の審議会における委員からの主な意見には、疾病負荷は一定程度明らかであるが、安全性についての情報収集等が論点とされ、検討が進められている。

現在、町としては、妊婦対象のワクチン費用助成についての希望は直接聞いておらず、令和6年度の近隣医療機関での町民の接種人数は0人、県内医療機関においては、町民の接種人数は1人と把握しており、町としては、ワクチンの接種費用助成は行わず、厚生労働省や県内自治体の検討状況を注視しながら、引き続き予防等の情報発信に努めたいと考えている。

問：中高生世代の「居場所」づくりを公共施設の視点から問う

答：既存施設の価値向上のためにも、可能性を議論へ



善田奈緒



財政管理課長

今年度見直しがされる公共施設等総合管理計画において、合理化と「交流・場づくり」の視点から、地域に新たな活動や人の流れを生み出す施設活用をどのように位置づけるのか。

人口減少と高齢化が進む中、交流・流入人口の活性化も含めた施設の役割の変化を踏まえ、策定していく。

中高生が気軽に過ごせる場が少ない。既存施設の活用も含めた「居場所」の検討状況は。

財政管理課長

既存施設を最大限活用するという視点の下、公共施設のあり方検討委員会で議論していく。

「自分たちの居場所がある」という実感は、地域への愛着を育むまちづくりの基盤になる。町内に自然と集まる場があれば、その世代の声を拾う場としても機能し、戦略的な仕掛けになるのでは。

財政管理課長

中高生は自主的に行動できる年代。お膳立てしなくても自分好みの居場所を探し当てるのでは。ニーズの見極めが必要。

要望 居場所を求めて入善や黒部へ行く声もある。町内に自然と集まれる場があれば、情報交換の場としても機能する。町のインフラの在り方は「どのような暮らしの場をつくるのか」という根本的な問いに関わる。未来を見据え丁寧に議論を。

一般質問

問：固定資産税の軽減措置について

答：住宅を取り壊すと固定資産税が6倍になるという間違ったイメージがあり、正しい情報を広報していく必要がある

空き家を解体した土地に一定期間、固定資産税の軽減措置の導入をしてはどうか。

税務課長

固定資産の課税については、住宅用地とそれ以外の宅地に分けられ、住宅用地には税負担を軽減する特例措置が適用される。

一方、住宅用地以外の宅地、すなわち更地や住宅でない建物の敷地は、評価額の7割が課税標準額となっている。したがって、住宅を取り壊しても、税額は6倍になるのではなく、最大で4.2倍になる。

住宅の敷地として特例措置がかかっていた宅地についてのみ増えるのであって、土地全ての税額が増えるものではない。

住宅を取り壊した後も特例措置を継続すれば、空き家の取壊し促進につながるとの意見だが、減免措置を取っている自治体はある。しかし、その判定は自治体によって異なっており、試行錯誤がうかがえる。

件数はそれほど増えておらず、もともと取壊しを検討していた方が前倒しをして取り壊すことにつながった程度、減免措置は空き家対策として少なからず効果はあると思うが、そもそも税の公平性を損なう可能性がある。

住宅を取り壊すと固定資産税が6倍になるというイメージだけが先行している現状があるため、正しい情報を広報していく必要がある。



吉江 昌宏



掲載以外の一般質問一覧

寺西 泉 議員

- ☆学校における危機管理について
 - ・不審者侵入への対応について
 - ・熱中症対策としての体育館のエアコン設置について
- ☆職員募集の工夫と働き方改革について
 - ・令和6年度職員募集の状況について
 - ・ジョブ型採用等を含めた職員募集の工夫について
 - ・職場環境の向上について
- ☆LoCoPiあさひまちの今後の在り方について
 - ・LoCoPiあさひまちの加入状況及び付与ポイント数について
 - ・付与ポイントの活用方法について

清水 真人 議員

- ☆町有財産における遊休地の利活用について
 - ・南保みず穂館グラウンドの利活用について
 - ・他遊休地の利活用について
- ☆町内における起業について
 - ・可能性の検討について

加藤 好進 議員

- ☆町政運営について
 - ・まちづくり会社設立について
 - ・下澤産業跡地の太陽光発電設備事業について
 - ・LoCoPiあさひまちコイン事業について
- ☆健康福祉について
 - ・带状疱疹ワクチン接種について

善田 奈緒 議員

- ☆公共施設等の管理計画について
 - ・進捗評価
 - ・次期計画の基本方針
- ☆まちづくり会社を中核とした官・民・地域共創型「たのしい未来」づくり事業について
 - ・なぜ今、「まちづくり会社」なのか
 - ・対象とするDXサービスは
 - ・官民連携から「地域共創」へ拡充した理由
 - ・行政とまちづくり会社の役割分担
 - ・住民との「共創」をどう実現するのか
 - ・3年間の工程と本年度の優先事項
 - ・予算の積算根拠
 - ・KPIの根拠
 - ・まちづくり会社の組織像
 - ・3年後の「自走」体制の見通し

吉江 昌宏 議員

- ☆朝日町の情報発信について
 - ・職員募集の動画について
 - ・作成動画の活用方法について
 - ・ふるさと回帰支援センターへの情報提供について
- ☆あさひ舟川「春の四重奏」について
 - ・駐車料金導入の背景について
 - ・料金収益の使途について
 - ・今後の春の四重奏への課題について

議会の話題

朝日町・白馬村議会議員連絡協議会を開催しました



5月22日に朝日町・白馬村議会議員連絡協議会を開催しました。この協議会では、日本海関東首都圏連絡道路構想のうちの新川～大北直結道を大きなテーマとしており、意見交換を行い連携を深めました。

永年勤続表彰



〈西岡 良則 議員〉



〈加藤 好進 議員〉

6月5日に開会した議会定例会において、西岡良則議員及び加藤好進議員が平成22年の初当選以来、町議会議員として15年の永きにわたり優れた政治感覚と高邁なる見識を発揮され、地方自治の振興と朝日町の発展に尽力された功績を称え、全会一致の決議をもって議長から表彰されました。

議会日誌（4～6月）

4月

16日：議会だより編集委員会
18日：全員協議会・議員協議会

5月

1日：議会運営委員会
13日：民生教育常任委員会行政視察～15日
16日：全員協議会・議員協議会
19日：総務産業常任委員会行政視察
22日：朝日町・白馬村議会議員連絡協議会
27日：全国町村議会議長・副議長研修会
28日：町村議会議長会研修会
30日：議会運営委員会

6月

5日：本会議（開会）
9日：議会運営委員会
12日：本会議（代表質問）
13日：本会議（一般質問）
16日：総務産業常任委員会
17日：民生教育常任委員会
19日：本会議（閉会）
30日：富山県日中友好地方議員連盟理事会、総会、講演会

議会や常任委員会を傍聴しませんか

日程は、町広報とホームページからご覧いただけます。

令和6年度政務活動費支出状況一覧

（令和6年4月～令和7年3月分）

会 派 名	自民クラブ	一步会
代 表 者	水野 仁士	清水 真人
所属議員数	8人	2人
交 付 額	960,000円	240,000円
支 出 済 額	635,588円	0円
返 還 額	324,412円	240,000円
支 出 内 訳		
調査研究費	459,588円	0円
広報・広聴費	176,000円	0円

執行率：53%

◆【私の好きな○○】◆

【私の好きなレコード】 由井 崇 議員

ビーチ・ボーイズの「ペット・サウンズ」、今から60年ほど前のアルバムです。

現在の司法書士事務所を開設してから、一日中ラジオを流しっぱなしにして、若い頃はほとんど聴かなかった音楽も聴くようになりました。

そんな中、ラジオで流れたのがこのアルバムの中の1曲です。音楽関係の書籍でも絶賛されているので、よっぽど良いものだと思います、アルバムを購入して聴きましたが、正直、最初は??でした。

それまで抱いていたビーチ・ボーイズのイメージとは違い、全体的に不思議なサウンドで、暗くてよくわからない作品という印象を受けた記憶があります。ですが、何度も我慢して(?)聴いていると、あまりに美しいメロディーとハーモニーに感動を覚えるようになりました。

ロック、ポップスといったジャンルなど関係なく、ホントに素晴らしい音楽だと思っています。



【私の好きな景色】 善田 奈緒 議員

山の中にいるのに、海が見える——

朝日町に来て初めてその景色を見たとき、「えっ、なんで?」と驚きました。

以前は岐阜県の山あいでもらして、森の中で過ごす時間が大好きでした。ここにも同じように豊かな森があって、安心したのを覚えています。でも、木々の合間から突然あらわれた海の青さに、思わず立ち止まりました。癒しの森の中にいながら、海まで見えるなんて。こんな贅沢な風景、そうそうありません。

日常の風景って、実は心に与える影響がとても大きいと思います。目まぐるしい日々の中で、ふと目に入る風景が、気持ちをそっと整えてくれることがあります。

そんな贅沢な風景が当たり前にある朝日町。私はこの町の景色がとても好きです。



編集後記

今号から少しずつ「議会だより」が変わります!

表紙写真は朝日町在住の写真愛好家グループの方からご提供いただきました。また、裏表紙「議員の部屋」では各議員の「私の好きな○○」を紹介することにしました。

さらに、日本一の議会だよりを作る埼玉県寄居町議会さんを視察し、たくさんさんの学びを得てきました。

いずれは町民の皆さんから写真やご意見を募り、みんなで作る参加型の紙面にしていきたいと考えています。手に取って読んでももらえるよう、委員一同アイデアを出し合いながら、より良い紙面づくりに励んでまいります!

(吉江)

◆議会だより編集委員

石原 孝之 善田 奈緒
水野 仁士 吉江 昌宏
大井 光男